



食育・地産地消を推進しています

本町では、食育に関係する部署や機関が連携して食育・地産地消を推進していくため、別海町食育・地産地消推進計画を策定しました。

本町の食を巡る現状や課題などを踏まえ、次の3つの基本目標に基づき、効果的に食育・地産地消を推進します。

- 1 健康な食生活につながる食育の推進
- 2 地産地消による安全・安心な食の推進
- 3 食の楽しみと感謝の心をはぐくむ取組の推進



食育と聞くと難しく感じてしまうかもしれませんが、日々の生活の中の「食」への関心のすべてが「食育」です。

- ・子どもたちに食事のマナーや食文化を伝える
- ・家族で食卓を囲み、コミュニケーションをとる
- ・自然に感謝し「生命」をいただいていることに感謝する気持ちを持つ
- ・地産地消に心がける
- ・バランスの良い食事を心がける
- ・積極的に食事づくりや後片づけに参加する

以上のことなど、できることから始めましょう。

この計画は子供でも分かりやすい内容で作成しました。役場農政課窓口等で計画書を配布していますので、ぜひお手に取ってご家族でご覧になってください。町ホームページでもご覧になれます。

食育とは

さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることと定義され、生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの。

(食育基本法前文)

地産地消とは

国内の地域で生産された農林水産物をその生産された地域内において消費すること及び地域において供給が不足している農林水産物がある場合にほかの地域で生産された当該農林水産物を消費すること。

(六次産業化・地産地消法第25条)

問合せ／農業政策担当（内線1412）

まるまる協力隊の〇〇な話



伊東 桜

先日、野付半島ネイチャーセンターのガイドツアーに同行させていただきました。その日は野付小学校の子どもたちに交じってガイドさんの後について歩いたのですが、とても印象深い一日になりました。

花や動物についてのガイドさんの問いかけに対し、子どもたちは元気いっぱい答えながら木や虫や目に映るいろんなものに興味を示していて「子どもたちのパワーってすごいなあ」と見ているこちらまで元気をもらえました。鳥の鳴き声がするとみんなで茂みに目を向けて鳥を探す場面もあって、「いた！あの木の上！見える!?!」と興奮しつつ、一緒に鳥を発見できたことがすごく楽しかったです。

その後、桟橋の方まで歩き、遊覧船に乗り込む子どもたちを見送りました。船が遠くの方に見えなくなるまで、「さよーならー!!」と元気いっぱい手を振ってくれる子どもたちの姿にうれしくなりました。もう最後の方は距離が遠すぎて何を言っているのか聞き取れなかったのですが、それでも見えなくなるまで手を振り続けてくれる子どもたちの姿がほほ笑ましくて幸せな気持ちになりました。

子どもたちを見送った後、桟橋に戻ると、来た時よりも潮が満ちて足元まで透きとおった海の水が張り、まるで水面を歩いているかのような不思議な感覚がありました。今はインターネットで何でも簡単に見たり調べることができる時代ですが、自分の目で見て体験したり何かを感じたりすることはとても価値のあることだと感じました。

